

# 山報 たげ山



万  
緑  
の  
中

山  
百  
合  
咲  
つ

風  
薫  
る

山報

北陸堂千年末勸安堂瑞光六尺花片

南無大菩薩



法話を受けるブリッツェン

### 宇都宮ブリッツェン 年始の必勝祈願に 多氣詣り

自転車ロードレースのプロチーム、宇都宮ブリッツェンの選手・関係者が、三月一日にご来山されました。毎年恒例となっております必勝祈願の特別大護摩供を本堂にて奉修した後、祈祷殿にて交通安全・無事故祈願を致しました。十月には多氣山の麓と古賀志山をコースとしたジャパ

ンカップも開催されますので是非観戦にお越し下さい。地元宇都宮のブリッツェンの益々の健闘をご祈念致します。

### 桜の花で春の多氣山

多氣山参道と南側の山肌が桜の花で彩られました。

ソメイヨシノの老体化や台風などの倒木などで花の数を減らしている当山の桜の木ですが、今年は大きな蕾をたくさん付け、更には昨年まで



綺麗に咲いた桜



鳥居と桜



お囃子に誘われて

咲かずにいた、植樹された桜の木までもが、今年は沢山の花をつけました。

春休みの日曜日には田下御囃子会おほやしの皆様が参道の張り出しで参拝の方々を賑やかに出迎えてくれました。

### 山頂三角点手前に鳥瞰図

植林の伐採で展望の良くなった山頂三角点付近に、古賀志山から鹿沼方面の案内板として鳥瞰図が三月に設置されました。ぜひご利用ください。

空気の澄んだ日は、北は日光連山から、南は霊峰富士山まで遙拝できますので、登山の際にはお立ち寄りにください。

志賀古山頂方面に設置



【毎月二十八日は不動明王のご縁日です。ご縁日には、午前六時 九時半 十時半 十一時半 午後一時 二時 三時の七回 毎時お護摩を奉修いたします。】

# 西国巡礼

半貫 清子

近畿地方二府五県に散在する三十ヶ寺を、平成二十七年四月、十月、翌年四月と、三回に分けての巡礼でした。

西国は、私のふる里でもあり、心弾む旅です。近年暖冬となり桜も終わったのかと思われましたが、満開の桜が私達を出迎えてくれ、秋には紅葉の世界も楽しめ、心が和みました。

静寂な寺もあり、又観光地のご真ん中に在し、参道は国際色豊かな参拝者で溢れる寺院もあり、陰と陽がはっきりと表れているのも特徴の一つかも知れません。どの寺院にも歴史と文化の重みに感動し、立派な建造物の多さに驚くばかりです。八番札所長谷寺、十六番札所清水寺の

舞台は有名ですね。三十番宝厳寺は琵琶湖に浮かぶ竹生島に建立された観音堂など。守り本尊として安置されている御仏、広いお心で千年の昔

よりどれ程多くの人々を迎え入れて下さったことでしょうか。私達もその中の一人、行く先で一ヶ寺、一ヶ寺

《一座の心からの法楽と法悦を味わう》巡礼でした。移動の距離が長い

ので、車中先達をお努め下さった住職様の法話を聞き、日常の生活では得られない特別な「徳」を頂きました。

最終日、三十三番札所華厳寺で満願打止め。達成感に酔いしれながらカメラに笑顔をおさめる人。岩石に腰を下ろしほっとする人。どなたの顔にも観音様の笑顔がほとばし

ておりました。坂東、秩父、西国巡りで百観音満願を迎えた方も大勢いらっしゃいました。

取り分けて心に残る第一回の高野山開創千二百年記念大法会萬燈会。

樹齢数百年の杉並木の木立の途中、戦国武将の墓に歴史を感じ、奥の院へと歩みを進めました。

多氣山持寶院に於いても、九月の万燈会が執り行われますので、高野山の万燈会は楽しみにしております。奥の院の萬燈の下、読経に耳を傾けておりますと、御仏のおそば近く

に居合わせたような不思議な気持ちと、有難いと合わせた手に、幸せ

を感じました。人生の終盤にこんな得難い体験ができるとは、夢々思っていた

だけでは、感動もひとしおでした。僧侶の方から一人一人に お供物を頂戴し、何万とお参りしている中

でもこんな恵まれた一日は心に深く刻まれました。どんなに文明が進んでも、人間の真の幸福は得られません。本当の幸福は、科学や物質ではなく、私たちの心にあるのです。巡礼の旅に出て、

自然の中に身を置き、その空気を感

じ、日常生活の何気ない生活の一コマのありがたさを感じとり、観音様との御縁を深く結ばせて頂くことが肝要かと思われま

す。私はまだまだ足を踏み入れたばかり、これからも健康に留意し巡礼の旅を続けていきたいと願っております。

皆様、ありがとうございました。



筆者と多氣山住職

## 境内石仏三十六童子清掃

六月二十二日

多氣山山門内の各所に祀られている石仏三十六童子の清掃が、多氣山巡礼会の方々により一体一体手作業によって磨かれました。

【毎月二十八日は不動明王のご縁日です。

ご縁日には、午前六時 九時半 十時半 十一時半 午後一時 二時 三時の七回 毎時お護摩を奉修いたします。】

# 第9回 大火渡り祭 平成28年5月15日(日)



猛火のなか渡火する住職



本堂前での法楽



必死の形相の山伏



炭のくすぶるなか一心に



しぶきを巻き上げる湯加持



奉納された特別壇木

【毎月二十八日は不動明王のご縁日です。ご縁日には、午前六時 九時半 十時半 十一時半 午後一時 二時 三時の七回 毎時お護摩を奉修いたします。】

全国から40人を超す有縁の山伏に御助法いただき、2,000人を超す檀信徒の皆様と共に、世界平和、国土の安穏、また東北や熊本等における震災の早期復興を至心にお祈りいたしました。また火渡りでは、火が燃え盛る中の大変熱い荒行となりましたが、1,000人を超す方々が参加され、それぞれの祈願を胸に修行されました。

## お寺を護って五十年 護法功労章受章

この度、当山長老伊東永峯僧正（以下長老）が総本山智積院より住職拜命から五十年周年を記念して「護法功労章」を受章されました。

長老は、昭和十六年十二月十四日に誕生いたしました。当時の住職は祖父である實永師が勤めており、父永俊師は教師として学校に勤めながら副住職を勤めておりました。しかし、長老が小学校六年生の時、副住職永俊師が急逝され、高校生の中には、住職實永師が遷化されました。持寶院の住職、副住職を共に若くして亡くされ、長老が住職となるまでの間は、親戚に当たる大田原龍泉寺の植木俊幸師に兼務住職としてお勤めいただき、多氣山を護っていただきました。

昭和四十年に大正大学仏教学部を卒業の後、四ヶ月間大本山高尾山にて修行をし、翌四十一年に多氣山住職を拜命致しました。住職として四十一年間、長老として九年間、多氣山持寶院を護ってこられました。

現在多氣山は、三が日の参拝者が公称で十二万人となっております。当時は現在のようないまはまなかつたそうです。お護摩札は山内で水引を縛り、掛け紙を掛けていたそうですが、平成に入ってから、一月二日でお護摩札が足りなくなり、僧侶総出で夕方からお護摩札を作らなければならぬくらい急激に参拝者が増加したそうです。

これは、長老が多氣山住職として境内の整備や、年間行事の充実を図り、年間を通して多くの檀信徒の方々が来られる信仰の山として発展させて来られました結果であります。

長老は山内の整備としまして、昭和四十七年の本堂改築、寺務所新築、五十二年鐘楼堂、五十四年水子供養堂、五十七年御守り授与所、六十三年檀信徒会館、水屋を建立しております。そして平成元年には庫裡、四年交通安全祈禱殿、十六年山門、十八年正面階段の改修といった、現在多氣山内にある全ての堂宇を建立及び修繕の事業を行って参りました。その他、多氣山の麓には檀家の方に限らず、宗派の異なる信徒の方も眠ることのできる多氣山霊園の造成を行っております。

また、現在三十八回を数え、年に二回のチャリティ活動「和尚と師匠の会」や多氣山巡礼会の発足、月一回の写経や阿字観を行う「大悲の会」を行うなど、檀信徒の方がお寺に足を運ぶ機会を増やし、教化活動にも熱心に取り組んで来られました。現在は、平成十九年に住職を

永人師に譲り、長老となられております。しかしながら、平成二十六年には菩提院結衆に列座をされ総本山での大変重責の役を担うなど、長老は七十四歳となりますが、現在も檀務を行う姿はまさに席暖まるに暇あらずです。

これからも長老、住職を始め、山内一同檀信徒の皆様のご来山を心よりお迎えしてあります。



総本山での表彰式（左端：当山長老）

【毎月二十八日は不動明王のご縁日です。ご縁日には、午前六時 九時半 十時半 十一時半 午後一時 二時 三時の七回 毎時お護摩を奉修いたします。】

# 宵祭り万燈会のおしらせ

平成二十八年

九月三日(土)

午後七時より九時

昨年より、本尊不動明王御開帳の八朔祭を九月一日から、**九月の第一日曜日**に変更し、八朔祭前日の**土曜日**には宵祭りとして万燈会を奉修いたしております。



午後七時より御開帳の特別大護摩供の後、会館前駐車場（鈴木茶屋跡地）を広場に野外ライブを予定いたしております。また、交通安全祈禱殿前に飲食の販売エリアを設けます。夜の盛大なお祭ですので、皆様お誘い合わせのうえお越し下さい。

## 宵祭り万燈会お護摩札

特別大護摩供奉修に当たり、お護摩ご修行の檀信徒の皆様には、宵祭りお護摩札をお授け致します。

- 一 体 五千元以上



(高さ：約23センチ)

## 万燈会角燈籠奉納のご案内

宵祭り万燈会では参道階段に角燈籠を奉安致します。ご奉納を頂いた方のご芳名は、一年間歳神殿に掲示させていただきます。

灯火時間 午後六時より

翌朝まで

芳名揭示 一年間

- 一 灯 一万円以上



(大きさ：約20×20×40センチ)

## カッププローソク奉納のおねがい

万燈会で多氣山の境内諸堂を灯すカッププローソクの奉納をお願いいたしております。

- 一 灯 五百円



(高さ：約13センチ・径8センチ)

## 八朔祭

本尊御開帳大護摩供

平成二十八年

九月四日(日)

午前六時より午後三時

八朔祭の当日は朝六時から御本尊不動明王の御開帳大護摩供が奉修されます。

お護摩の時間に本堂に参列され、内陣参拝される方皆様に、お清めの塗香のお授けと、交通安全・身上安全の「肌守り」を授与致します。

【毎月二十八日は不動明王のご縁日です。

ご縁日には、午前六時 九時半 十時半 十一時半

午後一時 二時 三時の七回

毎時お護摩を奉修いたします。】

矜羯羅・制吒迦童子  
修復勸募金寄進者ご芳名

◆一金拾萬円  
栃木市 (株)阿部  
高根沢町 増渕 茂夫

◆一金伍萬円  
上戸祭町 田平 隆司  
矢板市 大島スミ子  
(順不同・敬称略)

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 九月四日<br>八朔祭<br>(本尊特別御開帳)の<br>御護摩の時間 |    |
| 午前                                  | 午後 |
| 六時                                  | 一時 |
| 八時半                                 | 二時 |
| 九時半                                 | 三時 |
| 十時半                                 |    |
| 十一時半                                |    |



入佛開眼大護摩供

\*これまでの御前立ちは、交通安全祈  
禱殿に遷座されました。

**御前立ち  
不動明王立像建立**

去る六月二十八日、秘仏であ  
る多氣山不動明王のお厨子の前  
に御前立ちの尊像として、仏師  
松本明慶<sup>みょうけい</sup>氏作の不動明王立像が  
新たに建立されました。

お堂に奉安された後、住職導  
師の下、入佛開眼大護摩供を御  
奉修いたしました。

ご参拝の折には是非内陣参拝  
いただき、新たな御前立ちのお  
不動様の尊像を奉拝下さい。

今年もたくさんの花を付け、  
様々な彩を見せてくれた参道の  
紫陽花を多氣山の檀徒総代をは  
じめ、責任役員・世話人の総勢  
約二十名で剪定と下草刈りを  
行いました。

早朝五時半に始めた剪定も、  
皆さまのご協力のもと、予定の  
十時よりも早く終わりました。

来年もまた参拝の方々をお山  
の入口から楽しませてくれると  
思います。



多氣山参道  
紫陽花剪定と下草刈り  
七月十六日

**巡礼会からお知らせ**  
一緒に巡礼に行きませんか？

下野三十三観音霊場巡礼  
後半のご案内

巡礼期間  
平成二十八年  
第三回 十月二十日  
第四回 十一月十四日

行程 (各回) 日帰り  
費用 (各回) 八千円  
申込締切  
第三回 九月末日  
第四回 十月末日

四国八十八ヶ所霊場巡礼の  
ご案内

巡礼期間  
平成二十九年  
第一回 四月頃  
第二回 秋頃  
平成三十年  
第三回 四月頃

行程 (各回) 四泊五日  
費用 未定

\*巡礼会への入会・お問い合わせ  
せ、各巡礼のお申し込み・詳  
細は持寶院内 多氣山巡礼会  
事務局石本まで

# 行事予定

【毎月二十八日は  
不動明王(縁日)】  
不動明王(縁日)

## 八月

- 二日 初盆供養
  - 十二日 大施餓鬼会
  - 十三日 多氣山霊園千燈供養
  - 二十一日 月並御影供法要
  - 二十八日 ご縁日六時護摩
- 九月 九月詣り

## 八朔祭(本尊御開帳)

- 三日 宵祭り万燈会
- 四日 ご本尊御開帳

八日 秋季足尾大権現祭

- 二十一日 月並御影供法要
- 二十二日 水子地藏供養会
- 二十八日 ご縁日六時護摩

## 十月 七五三詣り

- 二十一日 月並御影供法要
- 二十八日 ご縁日六時護摩

## 十一月 七五三詣り

- 二十一日 月並御影供法要
- 二十八日 ご縁日六時護摩

## 十二月

- 二十一日 月並御影供法要
- 二十八日 ご縁日六時護摩
- 三十一日 除夜祭(除夜の鐘)

# 七五三詣り

十月・十一月は、七五三詣りの季節です。

当山では、お子様の成長を祝い、お不動様ご加護の下、今後の健やかなご成長と成長安全を祈願致します。皆様のご来山をお待ちしております。

受付時間 九時～三時まで

(随時受付)

祈願料 五千円以上

(御札・御守り・千歳飴をお授けいたします。)



着飾ったお子さんたちで賑わう境内

# 南無大聖不動明王

## のぼり旗奉納のお願い

お願い

「南無大聖不動明王のぼり旗」のご奉納をお願い申し上げます。

また、奉納箇所に限りがございませので、お早めにお申し込みいただけますようご案内申し上げます。

- 一 体 三千円
- 奉納期間 一年間



\*奉納期間が一年間を過ぎている方は、期間終了後に付け替えさせていただきます。

## 自動車交通安全祈禱

毎日午前八時半～午後三時半  
随時行っております。  
自動車交通安全祈願料  
一台につき七千円

## 水子供養

毎日午前八時半～午後三時半  
随時行っております。  
水子供養料  
一霊位につき一万二千円

## 編集部より

皆様からのお便りを募集していただきます。ご意見・ご感想をお聞かせください。

## フェイスブック始めました。



一年間の行事や季節の風景、花などを掲載してまいります。

URL: <http://www.tagesan.com>  
TEL: 〇二八・六五二・一四八八  
FAX: 〇二八・六五二・八〇九八  
※携帯電話のバーコードリーダーでアクセスできます。



多氣山 不動尊

フェイスブック

発行 持寶院

〒321-0343  
宇都宮市田下町563  
電話 028-652-1488  
FAX 028-652-8098  
印刷 藤井上総合印刷  
〒321-0973  
宇都宮市岩曾町1355番地  
電話 028-661-4723